

【かろうと山古墳】

南東に伸びる尾根上に位置し、南側に張り出した平坦面の南端に築造された、楕円形の円墳。(長径約12.5m、短径約10m、封土の流失が激しく、現在は高さ1m程度) 副葬品については直刀、刀子、鉄鎌、金銅製弓弭金具、金銅製刀装具、などが見付かり、7世紀前半ごろの三浦半島の支配者の墓と考えられる。

【横須賀リサーチパーク】(YRP)

1997年(平成9)10月に情報通信の世界の研究開発拠点を目指し開設。面積61.7ha、東西約1.6km、南北約0.7km。平成16年4月現在、約70研究機関等が進出。

【光の丘水辺公園】

谷戸や溜池のある自然豊かな里山を、YRP開発後もそのままの自然を残すために湿地の移植を行い、人工的に昔の姿の再現を図って作られた。

園内の池で一般公開されている**四季の池**は、季節にはニリンソウやハンゲショウ等が、また一時的に開放される**野鳥の池**には冬たくさんのカモ類の飛来が見られる。その奥にはさらに、聖なる池、最奥の池というヒミツの池が存在。

【天照大神社】(てんしょうだいじんじや)

祭神は天照大神。口伝によると、江戸時代、お伊勢参りが盛んだった頃、里人の三家が、伊勢の神官より勧請したと伝えられている。社殿のある小高いお伊勢山と緑豊かな社叢林は境内を一層荘厳に保っている。現在の拝殿は、昭和21年に建てられ、平成11年改修。

【聖徳久里浜霊園】(三浦大仏)

1969年開園。約6万m²の敷地に約2500基の墓地が点在。海拔80mの高台に法隆寺五重塔を模したものといわれている、高さ15mの五重塔がそびえる。(1985年(昭和63)ガラス繊維と強化セメント製) 近くには、高さ13.5mの三浦大仏が鎮座する。経営主体:(宗)聖徳寺[浄土真宗東本願寺派]

【JR横須賀駅】(関東の駅百選)

明治22年(1889)の横須賀線開通に伴い開業。戦前、資材等を列車に素早く簡単に積み下ろし出来るよう階段のない珍しい駅。

【ベルニー公園】(以前の臨海公園)

幕末、横須賀製鉄所の建設と運営を手がけ、日本産業の近代化に貢献したフランス人技師ヴェルニーの業績をたたえて名付けられた公園。公園の園路や花壇は、フランス様式の庭園を模し、バラはフランスで育成された品種を中心に約2000本が園内を飾る

【三笠公園・記念艦三笠】

記念艦三笠: 日露戦争時の連合艦隊の旗艦。1900年(明治33)にイギリスで建造。排水量15、140t、全長132m、幅23m。大正11年廃艦、15年11月記念艦に。昭和36年復元。(世界三大記念艦)。

三笠公園: 市制80周年を記念し1987年(昭和62)「水と光と音」をテーマとした公園。(日本の都市公園100選) 音楽に合わせれ舞う噴水や壁泉などが園内を彩る。

【どぶ板通り】

以前、通りの中央に1mほどの下水溝があり、厚いドブ板を敷いていたことが由来。大正時代からこう呼ばれていたとか。現在では、アメリカ風の雰囲気を残しながら、若者の町に変貌。アメリカ人向けの街から、日本人向けのアメリカ製品を扱う店が増えてきた。道路面には、横須賀に関わりの深い有名人の手形のレリ

【大勝利山】

明治28年(1895)に日清戦争の勝利に感激した坂東善兵衛という人物が、私財を投じて開拓した山といわれている。160段以上ある石段登ると、明治9年、愛知県の豊川稲荷(円福山妙厳寺)から祭神を分祀して建てられた。豊川稲荷横須賀別院(豊川山・徳寿院)という禅宗(曹洞宗)の寺が、奥には、成田不動尊分霊所。(三浦不動札所の第四番札所)

横須賀: スカとは「砂地」「砂浜」「砂洲」を意味し、洲処とよば